

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 7 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	再エネ普及に向けた調査・イベント実施等事業
補助事業者名	安来市
補助事業の概要	<p>「化石由来のエネルギーを市外から調達する」構造から「再生可能エネルギーを地産地消する」構造に転換し、地域経済の好循環と経済的社会的レジリエンスのあるエネルギー需給構造の構築を目的とする。</p> <p>令和 7 年度は、その実現に向け、安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョンの方向 3、4 を重点的に実施した。具体的には、再エネ地産地消による域内経済循環の官民連携勉強会の立ち上げ、地域マイクロ水力発電の親子向けワークショップの開催、ペロブスカイト太陽電池の普及に向けた機運醸成イベントの開催を行った。</p>
総事業費	9,997,900 円
補助金充当額	9,997,900 円
事業終了時点で達成すべき成果目標【必須】 (提案書から転記)	<p><b>安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョン</b></p> <p><b><u>方向 3 : 再エネの地産地消を通じて、産業や地域を振興します</u></b></p> <p>①再エネ地産地消による域内経済循環の官民連携勉強会の立ち上げ</p> <p>・事業者【4 社以上】が参画する勉強会を 3 回程度開催する。市内に帰着する金額が高い、すなわち経済効果の大きい、実装可能な事例を【1 件以上】見出す。参画事業者の【半数以上】が翌年度も継続参画する意向を示す。</p> <p><b><u>方向 4 : 再エネ導入による経済的・社会的メリットを全員で享受し、さらなる導入につながる好循環をつくります</u></b></p> <p>①ペロブスカイト太陽電池の普及に向けた機運醸成イベント</p> <p>・参加者【20 人以上】、参加満足度【80%以上】を目指す。</p> <p>②マイクロ水力発電ワークショップの開催</p> <p>・参加者【15 人以上】、参加満足度【80%以上】を目指す。</p> <p>・また、情報発信のため、①・②とも、報道機関【1 社以上】から取材を受ける。</p>

<p>事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況【必須】</p>	<p>方向3①再エネ地産地消による域内経済循環の官民連携勉強会の立ち上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者【3社】が参画する勉強会を3回開催した。再生可能エネルギーの単純設置だけでなく、「再エネを価値を生む素材として活用」することで実装可能な事例を【1件以上】見出す方向性を出した。参画事業者の【全て】が翌年度も継続参画する意向を示す。</li> </ul> <p>方向4①ペロブスカイト太陽電池の普及に向けた機運醸成イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生から60代までの老若男女【17人】が参加し、参加満足度は【100%】であった。ペロブスカイト太陽電池の理解だけでなく、事業者や市民、学生が協同することにより産学官民が繋がることのできた。</li> <li>・情報発信のため、報道機関【1社】（地元ケーブルテレビ）から取材を受けた。</li> </ul> <p>方向4②マイクロ水力発電ワークショップの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小学生の親子【25人】が参加し、参加満足度【100%】であった。水力発電の仕組みを通して再生可能エネルギーを理解するだけでなく、パットボトルで作成したイルミネーションを点灯させることで、発電から電力消費の流れを理解でき大変好評であった。</li> <li>・情報発信のため、報道機関【1社】（新聞社）から取材を受けた。</li> </ul>	
<p>事業終了後、将来的に達成すべき成果目標【任意】 （提案書から転記）</p>	<p>安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョンに掲げる方向1～4の各目標値について、令和12（2030）年度までの達成を目指す。</p>	
<p>事業終了後、将来的に達成すべき成果目標の達成状況【任意】</p>	<p>令和7年度事業終了時点では、上記目標の達成度の測定は行っていない。</p>	
<p>補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）</p>	<p>契約（間接補助）の目的</p>	<p>上記方向3、4の実施</p>
	<p>契約の方法</p>	<p>一般競争入札（公募型プロポーザル方式）</p>
	<p>契約の相手方（間接補助先）</p>	<p>（株）荒谷建設コンサルタント 安来事務所</p>
	<p>契約金額（間接補助金額）</p>	<p>9,997,900円</p>

来年度以降の事業見通し	令和8年度は、地域の再エネ活用を学ぶ場と実践の場を一体化し、市民・事業者・高校生が協働して地域課題の解決策を創出する「再エネ活用・地域共創プログラム」を通年で開催し、再エネ理解と地域循環の促進を図る。
-------------	--

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 事業終了時点で達成すべき成果目標の欄、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標には、それぞれ、補助金応募申請書提出時に設定した、「①事業終了時点で達成すべき成果目標」、「②事業終了後、後年度で達成すべき成果目標」の記載を転記すること。
- 3 事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標の達成状況の記載については、それぞれに対応する形で、成果目標の達成状況及び達成状況についての評価を記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。